

A I の自然言語処理を活用した製品安全業務支援システムの開発を受託 ～職員の作業負担の軽減と業務効率化を目指す～

株式会社フォーカスシステムズ（東京都品川区、代表取締役社長：森啓一、以下「当社」）は、独立行政法人製品評価技術基盤機構（東京都渋谷区、理事長：辰巳敬、以下「NITE」）から、AI の自然言語処理(*1)を活用した「製品安全業務支援システムの開発」を受託したことをお知らせいたします。

NITE 製品安全センターでは、消費生活用製品等に関する事故情報の収集及び調査・原因究明、さらには結果の公表により、製品事故の再発・未然防止を図っています。

近年は製品や消費者の使用様態が多様化したことに伴い、事故原因もさまざまであることや、蓄積された事故情報が約 60,000 件にも上っており、そのデータ分析作業のために多くの人手と時間を要していました。また、調査の現場においても既存データベースのみでは作業の効率化を図ることが難しくなってきたことから、AI 関連技術を活用した新たなシステムを開発し、業務の効率化・作業省力化が求められていました。

当社は 2019 年に、大阪工業大学様と自然言語処理を用いた教師データ生成システムの研究を行いました。また、2020 年には、パッケージソフト開発会社様の製品サポートサイト運営の仕組み(*2)として採用され、自然言語処理のノウハウを蓄積してまいりました。そのノウハウと、当社がこれまで培ってきたシステム開発の技術力を合わせ、今回の「製品安全業務支援システムの開発」の受託に至りました。

(*1)AI 技術の一つで、人間が手を加えなくてもコンピュータが自動的に、大量のデータからそのデータの特徴を発見する技術です。

(*2)顧客の問い合わせ対応履歴から Q&A データを作成するソフトウェアです。

当社は自然言語処理を利用したシステム開発の経験を活かし、これまで複雑で手間のかかっていたデータ管理や入力作業を簡略化し、職員の負担軽減及び業務効率化を実現してまいります。

【独立行政法人製品評価技術基盤機構について】

独立行政法人製品評価技術基盤機構は、1928 年に輸出絹織物検査所として設立されました。

2001 年からは独立行政法人として、製品安全分野、化学物質管理分野、バイオテクノロジー分野、適合性認定分野、国際評価技術分野の各分野において社会に存在するリスクを顕在化し、確かな技術と信頼できる情報を提供して、そのリスク低減に貢献することにより国民生活の安全と持続的な経済発展の基盤を支えています。

HP : <https://www.nite.go.jp/index.html>

【フォーカスシステムズについて】

株式会社フォーカスシステムズは、1977 年に設立され、公共・通信・情報セキュリティ等、社会性の高い分野におけるシステム開発・運用に携わるだけでなく、IoT やクラウド、AI 等、時代の流れを見据えたビジネス展開も積極的に推進しています。

2016 年には東京証券取引所市場第 1 部銘柄に指定され、社会からの評価と共に順調に成長しています。

HP : <https://www.focus-s.com/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社フォーカスシステムズ IR・広報室

メール : koho@focus-s.com

TEL : 03-5421-7790